

【子どもたちを守るための啓発リーフレット】

ケータイ・スマホ・ゲーム機等の安全な使用について

交流サイト等をめぐるトラブルから子どもたちを守るために館林市内の小中学校では



☆午後9時以降…保護者は、

ケータイ・スマホ・ゲーム機等を預かります。

☆午後9時以降…児童生徒は、

ケータイ・スマホ・ゲーム機等はいりません。

館林市教育委員会 館林市小学校長会 館林市中学校長会
館林市小中学校PTA連合会 館林市子ども会育成団体連絡協議会
館林市青少年育成推進員連絡協議会 館林市青少年センター補導員会

～平成26年12月緊急アピールより～



ケータイ・スマホ・ゲーム機等の使用に潜む問題と危険性



書き込みが悪口や誹謗中傷に発展しトラブルになりやすい

いつ、誰とどんな連絡をとっているのか把握しにくい

わいせつ画像や児童ポルノ、好ましくない情報へのアクセスが可能

出会い系サイトやネット詐欺、有害情報など危険な情報が身近にある

長時間利用による体調不良や学力・運動能力の低下、課金額の増大等につながる危険性がある



ケータイ・スマホの使用時間においては、約46%の生徒が1日に2時間以上使用していることが分かりました。【中学3年生の結果】

調査結果 I

	使用していない	1時間未満	1時間以上	2時間以上	3時間以上	4時間以上
ケータイ・スマホ	13.3	15.1	25.7	22.4	9.6	13.9
コンピュータ・タブレット	64.9	19.0	8.6	3.4	1.3	2.9
ゲーム機・音楽プレーヤー	43.7	31.3	12.8	4.7	2.4	5.2

約46%

昨年度60%

(数: % 値)

ゲーム機・音楽プレーヤーの使用時間においては、約24%の児童が1日に2時間以上使用していることが分かりました。【小学6年生の結果】

小学6年生では

	使用していない	1時間未満	1時間以上	2時間以上	3時間以上	4時間以上
ケータイ・スマホ	42.6	29.3	10.0	8.0	4.5	5.6
コンピュータ・タブレット	43.4	31.6	10.3	5.3	2.5	6.8
ゲーム機・音楽プレーヤー	16.6	34.6	24.4	9.6	4.8	10.0

昨年度30%

約24%

(数: % 値)

(R3.6 館林市ケータイ・スマホ・ゲーム機等実態調査)

※昨年度よりも2時間以上使用している割合が小中学校とも減少しています。

昨年はコロナによりおうち時間が増加した影響もあると思いますが、引き続き使用時間について家庭で話し合ってみましょう。4時間以上使用している割合が10%以上という結果も気になるところです…。

学校では1人1台端末の活用が始まっています

家庭でも使い方について改めて話し合う機会を作りましょう

館林市では、令和3年3月にchromebookが整備され、令和3年度から本格的に1人1台端末の活用が始まりました。授業の中で子ども達がパソコンを使う時間も増えています。学校では使い方のルールを決め、正しく使えるように指導していますが、今後、家庭に持ち帰って使うこともあります。学校でのルールを守ることはもちろんですが、家庭でのルールをお子さんと一緒に考え、決められたルールを守って使えるように家庭でのご協力をお願いいたします。

正しく利用し、情報活用能力を高めていきましょう!

特集

① カメラ機能で撮影する写真や動画について考えよう！

世界初のケータイカメラは、1999年、『テレビ電話用カメラ付き携帯電話』として日本で生まれました。翌年に誕生した『カメラ付き携帯電話』で一気にブレイク。手軽に撮影でき、親しい人に「写メール(写メ)」して共有できる楽しさが加わって、女子高生におけるブームを発端として瞬く間に日本中に広がりました。

それから20年あまり。かつての女子高生が保護者世代となった現代、カメラの性能やネット環境は大きく様変わりしました。写真や動画の撮影はもちろん、ビデオ通話・学習・会議等オンラインでのやり取り、遠隔医療ほか「実用」「コミュニケーション」「自己表現」の道具として、カメラ機能の活用範囲はどんどん広がっていることから、**大人も子供も、正しい知識を持つことが安全の鍵**となります。

また、学校現場でも、GIGAスクール構想によって1人1台端末をはじめとしたICT環境整備が進められており、子供たちがICT端末に触れる機会は増えていきます。



子供たちがICT端末を使うことが当たり前前の時代に

スマートフォンの普及や感染症対策等により、子供達がさまざまな端末に触れる機会が増えました。子供のネット利用に向き合う“大人の意識改革”は待ったナシです。

現実空間とバーチャル空間が融合した新たな社会を生きる次世代を育てるために、**子供の数だけデジタル機器がある時代**がやってきました。

道路の歩き方、包丁の使い方と同様、**年齢や経験や判断力に合わせてアドバイスや指導をしなければなりません**が、大人にとっても新しい文化、不安や苦手感等から二の足を踏んでいる間に、子供は自分たちで新しい使い方を受け入れて試みます。

特に、**動画の撮影・投稿やライブ配信を行うことができる「カメラ」の扱いはとても厄介**。大きなメリットがある反面、**多くの危険をはらんでいる**ことを意識して使う必要があるのです。



心がけ次第で明暗が分かれる“見せる”“つながる”

人は、自分に都合が悪いことから目を背けがち！だから「カメラ+ネット」もその危険を過小評価せず、さまざまなところに目を向けて考えながら発信することを心がけましょう。



家族や友人・知人の範囲を超えた“**不特定多数**”に写真や動画を見せれば、**傷つけたり誰かに傷つけられたり、トラブルや犯罪に巻き込まれたりする**可能性も生じます。楽しく有効に使いたいと思うなら、起こりうる危険にも向き合ってください！

- 自発** 注目されたくて行うルール違反、危険行為、迷惑行為
- 他発** 写ったモノ・場所・文字によって身元が知られる可能性
- 他発** 公開した写真・動画の悪用やねつ造、誹謗中傷の可能性

小さくてもスゴイ!! カメラの性能の飛躍的向上に要注意!

「ピースサインの指紋」まで判別できるようになった現在のデジタルカメラ。スマホのカメラ機能も負けてはいません。「瞳に映った景色」を地図情報の風景写真と照合、近くで待ち伏せして後をつけ自宅マンションを突き止め、投稿動画に写った室内の様子などから部屋の位置まで割り出したというスーカーク事件もあつたほどです。きれいな、カワイイ、珍しい等々、写真や動画“映え(ばえ)”しそうだと思ったら、すぐに撮影したくなってしまう人もいますが、それをネットで公開した瞬間、恐ろしいトラブルの扉が開いてしまうかもしれません。撮影や編集の技術と共に、公開して大丈夫か、悪用されないか、想像する力を身につけましょう。

この建物が見覚えが... あそこだ!

あの犬羊の着ぐるみ... 動画を撮りたい

撮っていいよ! アップしちゃって全然いいよ~

これであの子のアカウントがわかるかも!

◆ 日常に潜む危険

① スマホの過度な使用による生活や体調への支障

友人とのトークが連日深夜まで続き

遅刻や居眠りをするようになってしまった



メッセージアプリで友人とのやり取り(トーク)をするのが大好きなAさん。話を終わらせるタイミングがわからず、夜遅くまでスマホを使う毎日でした。



朝起きるのがつらくなり、眠たくて授業にも集中できなくなりました。体調や成績にも影響が出ているのですが、友人とのトークはやめられません。

考えてみよう!

友人関係が何より大切な時期ですが、生活習慣の乱れや睡眠不足は、健康や学習にさまざまな影響を及ぼします。適切に利用するためにできる工夫はありませんか？

A. ルールを作ってみる

上手にトークを終わらせるのが難しいと悩む子供はいっぱい。終わりの言葉を決める、〇時までと決めるなど、自分たちで話し合っルールをつくと、コントロールしやすいようです。

B. 睡眠について調べてみる

体の成長を促すだけでなく、体調を整えたり、疲労回復にも不可欠な「成長ホルモン」。睡眠との間にはどんな関係があるのか、調べてみると気づくことがたくさんあるはずですよ。

C. 時間の使い方を見直してみる

宿題、食事、入浴 etc... 帰宅後はやることだらけ。習い事や塾もバラバラで遅い時間しか話せないのなら、早めに寝て“朝活トーク”をするのも一案。目も頭もさえるのでおススメです。

解説 長時間になりがちな利用を、どうコントロールするかが課題

学びに、連絡に、趣味や娯楽に、スマホのある生活は当たり前になりつつあります。オンラインゲームをしたりネット動画を見たり、テレビ番組をスマホで見たり、スマホを使う時間は増える一方です。また、常にSNSのメッセージが気になり、何事にも集中できなくなる子もいます。

自分をコントロールできずスマホが手放せなくなると、日常生活に支障をきたすだけでなく、健康面でもマイナスです。適切な使い方ができるよう、親子で利用のルールを話し合い、保護者が利用状況を把握するよう心がけましょう。学校行事や受験など「いざ!」というときに後悔しないよう、スマホ利用を自制する力を育てましょう。

ワンポイントアドバイス

ペアレンタルコントロールとしても使える時間管理機能は、何をどれくらい使ったか確認でき、アプリの時間制限も可能。上手に活用しましょう!